



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会  
城南区社協事務所（城南区社会福祉協議会）  
福岡市城南区鳥飼 5-2-25 城南保健所 1階  
TEL:092-832-6427 FAX:092-832-6428  
Eメール:jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp



## コロナに負けず！地域福祉の今を学ぶ！

～学生の疑問を理解につなげる新たな取組み～

城南区社協では、中村学園大学の講義「社会福祉とボランティア」に協力し、オンラインで校区社協へのインタビューを実施しました。学生は、事前学習として地域福祉活動について区社協の講義を受けてから、インタビューに臨みました。

当日は、堤地区社協の柴田文政会長・南片江校区社協の金子雅英会長と学生宅をオンラインでつなぎ、学生が地域福祉活動について疑問に感じたことなどをインタビュー形式で各会長に尋ね、地域福祉の現状を学びました。

### WEB講義の様子

学生からは「地域福祉活動を始めた動機・経緯」「コロナ禍での地域福祉活動」を中心に活発なインタビューが行われ、最後に両会長から学生にメッセージをいただきました。



### 学生からの感想（一部抜粋）

- 地域の掲示板に地域活動等についての情報が掲載されていると聞き、これからは地元にある掲示板を見て、自分の住んでいる地域で何が行われているのか調べてみようと思いました。
- 今回のインタビューで学んだことは、社会福祉は“特別なこと、特別な仕事”ではなく私たち一人ひとりができる活動だということです。近所の方に声をかけてつながりを持つのも立派な社会福祉であることを知り、私たちでも貢献できることはあるのだと気づくことができました。

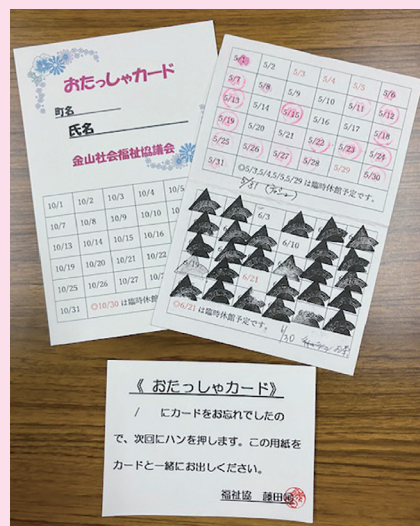
## おたっしやカード (金山校区)

金山校区では、コロナ禍で外出の機会が減った高齢者のために何かできることはないかと考え、65歳以上の方を対象に、令和3年4～6月に「おたっしやカード」の取組みを実施しました。

金山公民館まで来た時に(来館の理由は何でもOK!)、カードに1日1個のスタンプを押してもらい、その数に応じて粗品がもらえるという仕組みです。3か月の間に50名弱の参加があり、40名近くの方が粗品と交換しました。

今まで公民館に来たことのない方が通うきっかけになり、サークル活動への参加につながったり、この取組みがあることで運動不足の解消になったりするなど、嬉しい効果がありました。

～ 好評につき10月から第二弾を実施! ～



実際に使用されているカード

## ふれあい配食事業(別府校区)

別府校区社協では、民生委員や町内会長に協力いただき、高齢者の安否確認を兼ねて年2回お弁当を配っています。令和3年5月は新型コロナウイルスの感染者が増えた時期でしたが、「訪問を楽しみに待ってられるので配らない訳にはいかない!」との思いから、お弁当を手渡すときは手袋をはめ、訪問時間を短くするなど感染対策を工夫して、高齢者169名に配付し、喜ばれました。



準備も短時間で!



感染予防の手袋

## ふれあいサロン活動についての講義を行いました(七隈校区・サロン万葉)

福岡大学医学部看護学科の「ヘルスプロモーション実習」で、七隈校区「サロン万葉」の谷村幸子代表と城南区社協が、ふれあいサロン活動についての講義をオンラインで行いました。

谷村氏からは、サロンの歴史やコロナ禍での活動状況についてお話しいただき、現在はコロナ禍で活動が制限される中でも、参加者と連絡を取り合ったり、訪問したりするなどの「つながるための工夫」をしていることが紹介されました。特に、西南の森の湖畔公園で行ったお花見は、外出の機会がなかなかない参加者からとても好評だったそうです。

地域の取組みやサロンと参加者の深いつながりについて学生に知ってもらう良い機会となりました。



ヘルスプロモーション (オンライン講義)



好評だった屋外サロン